

令和6年度 岡崎市美術品等収集委員会会議録

- 1 開催日時
令和6年10月29日（火） 午後2時～午後3時30分
- 2 開催場所
岡崎市美術博物館会議室、一時保管庫、収蔵庫前室
- 3 出席委員
神谷浩委員長・石崎尚委員・高橋秀治委員・山田美佐子委員・吉田俊英委員
- 4 説明のため出席した職員
榊原悟美術博物館・地域文化広場・美術館特任館長
加藤健一郎社会文化部長
美術博物館
大澤一実館長・酒井明日香主査・今泉岳大主査・田中裕紀乃主事
地域文化広場
亀井実館長・真山陽理子主事・谷口結菜会計年度任用職員
美術館
倉橋浩二館長
- 5 会議の成立
委員5名全員が出席のため、岡崎市美術品等収集委員会設置要綱第4条第2項の規定により、会議の成立を確認した。
- 6 会議の公開・非公開について
岡崎市情報公開条例第7条に規定する非開示情報を取り扱うため、本会議について非公開とした。
- 7 会議の内容
収集候補資料5件（購入2件、寄附2件、寄託1件）について、一時保管庫等および収蔵庫全室にて資料を実見し、美術博物館職員、地域文化広場職員が説明した。
審議の結果、上記の資料全5件について、全会一致で収集が妥当との結論が出た。
委員の意見等は以下のとおり。

【購入資料】

調書番号1－1「国島征二《SEALED TIME MY TIME - CUTOFF》」

調書番号1－2「国島征二《Suspended Pool '82-19》はじめ2点」

- ・1－1《SEALED TIME MY TIME - CUTOFF》は身近な時計を素材に用い、時間を閉じ込める、記憶を閉じ込めるという作家の意図を感じさせる作品である。展示については、蓋にあたる部分を閉じて展示するにせよ開いて展示するにせよ、両方の状態がわかるようにパネル等で示してほしい。1－2「Suspended Pool」の①の彫刻と②の絵画は、題名が同じなのでテーマの狙いは同じかもしれないが、異なる点も見られるため、安易に2つのセットとして扱うのは誤解を招く

恐れがあり、展示についてはよく調査して慎重に検討するべきである。国島征二は岡崎市の郷土の作家として、今後同作家の調査研究を進めてゆく中で必要な資料である。受入に異議なし。

【寄附資料】

調書番号 2-1 「鬼頭健吾《ex-utopia》はじめ 4 点」

- ・鬼頭健吾はこの地域の重要な作家である。多岐にわたる活動を展開されている作家であるので、1 点でなくバラエティに富んだセクションで受け入れるのは有効である。形や大きさ、タイプの違う作品でありながらも、それを貫く作家の軸のようなものが見いだせる。今後研究を進めてほしい。受入に異議なし。

調書番号 3-1 「前田利昌《ブルータス》」

- ・作家本人からの受入であるため、真贋という問題においては間違いのない作品である。受入に異議なし。

【寄託資料】

調書番号 4-1 「手塚愛子《閉じたり開いたり そして勇気について(織り直す)》」

- ・織物や糸を素材に作品を制作する女性作家が多い中で印象に残る作品である。既に収蔵している作品は既存の織物を用いている一方で、新作は織物のデザインから作家が携わったということなので、その対比という意味でも併せて収蔵することは意義がある。受入に異議なし。